

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	春日地域福祉事業所ひまわり		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 15日		～ 令和 7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 15日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	利用者やご家族のニーズを都度記録し、活動プログラムが固定化しないよう毎月の会議時に職員全員でプログラムを作成しています。	他の事業所や関係機関との情報交換を密に行い、季節や個々の特性を踏まえたプログラムに作成を行います。
2	保護者への説明等 日頃から子どもたちの状況を保護者と伝えあい、子どもたちの発達の状況や課題について共通理解を図る。	連絡帳や日々の送迎時の面談以外にSNSやICTを活用して、保護者の方々の情報交換や、日頃の状況・課題などの共通理解を図っています。	子どもたち個々の状況とともに、ご家族の状況も把握し、家族支援を広げていきます。
3	環境・体制整備 子どもたちの活動スペースが十分に確保されている。	最大10名の子どもたちと職員が、怪我無く活動できるよう設備環境の整備を半年に1度は行っています。	更なる活動の充実を図るよう、設備や屋内環境の整備を行います。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明等 父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	コロナ禍以降、保護者会等の実施機会が少なくなり、保護者同士の連携を直接支援する機会が少ない。	SNSやICTを活用して、保護者同士の連携や情報交換の機会などを増やしていきたい。
2	適切な支援の提供 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもたちと活動する機会があるか。	児童センターや地域の公園等での交流や、イベント参加による地域との交流を行っているが、一部利用者に偏る傾向がある。	多くの利用者が地域イベント等へ参加できるよう、保護者の方々への働きかけを行うとともに、情報の発信を早い段階で行うようにしたい。
3			